

# 熱利用転換で環境を守り未来につなぐ 木質バイオマス地域アライアンス

活動地域  日本全国



木質バイオマス導入支援 (串間市、茅野市等)

## 課題

温暖化防止、地域環境の保全、地域活性化のために、木質バイオマス熱利用の導入が有効である。その方策として地域ごとのアライアンス(同盟)組織し、持続的に推進する。

## 目標

木質バイオマス熱利用地域アライアンスを4年間に13組(今年3組)形成する。ボイラー導入支援でCO<sub>2</sub>排出量を4年後に年間3,150 t(今年1,035 t)削減する。



## 今後の展望

4年間の活動により、木質バイオマス熱利用の重要性が認識され、導入する施設も増えた。地域自身が木質バイオマス熱利用を計画、調査、実践できるよう、重点地域を選び、引き続ききめ細やかな支援をする。

## 活動内容と成果

木質バイオマス熱利用はCO<sub>2</sub>を排出せず、地域資源を活用し、地域経済にも貢献する。これに地域で協力し合う地域アライアンスを育成した。単年度(4年通算)の成果は、アライアンス形成3地域100%(13地域108%)。アライアンス研修会参加68人・見学会33人。実務人材育成は79人であった。木質バイオマス導入・転換簡易診断は25施設167%(67施設126%)、ボイラー導入支援は新規5施設2,350kW(4865kW)、推定CO<sub>2</sub>排出削減量2,115 t/年184%(4,379トン/年139%)であった。



木質バイオマス熱利用研修 (志布志市等)

フロントランナー助成

4年目

実践

木質バイオマス熱利用  
地域アライアンス形成 **3地域**

ボイラー導入支援によるCO<sub>2</sub>排出削減 **2,115 t**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **80%**

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

- ①木質バイオマス熱利用に対する理解
- ②需要側の事業者、山側の燃料製造者と設計・設置技術者の育成
- ③自治体等の慎重な決断

### ■ 工夫した点

- ①地域に向き、講演や研修を繰り返し行った②と③の条件が比較的揃い、意欲的な地域を選択し、粘り強く活動を行った。

〒770-0935  
徳島県徳島市伊月町1-32  
電話：088-624-8375  
E-mail：info@tene.jp  
HP：http://www.tene.jp

